

高校生がゲームを通して農業を考え、課題解決に挑む 「NASEF FARMCRAFT® いばらきコンテスト2024」

作品募集期間 2024年12月2日(月) まで

いばらきeスポーツ産業創造プロジェクト推進協議会(iBAe/イバイー)*は、特定非営利活動法人国際教育eスポーツ連盟ネットワーク日本本部(NASEF JAPAN/ナセフジャパン)、茨城県と連携し、高校生を対象とした「NASEF FARMCRAFT® いばらきコンテスト2024」を開催します。



茨城県は農産物の産出額が全国第3位の農業大県。当コンテストは、高校生が親しみのあるゲームを活用し、茨城の農業課題や解決策について考え、プレゼンテーション動画を作成することで、課題解決力やITスキルの向上を図り、将来の産業を担うデジタル人材の育成に繋げることを目的としています。

開催概要

【課題】

「Farmcraft® 2024」をプレイして学んだことをもとに、茨城の農業において、デジタル技術を活用した効率的な農業経営について考え、チームでプレゼンテーションをしてください。

- 【提出物】 ① プレゼンテーション動画(5分以内/MP4形式)
② Farmcraft®2024の最終スコアのスクリーンショット

- エントリー期間: 2024年10月3日(木) ~ 2024年11月18日(月)
- 作品応募期間: 2024年10月3日(木) ~ 2024年12月2日(月)
- 結果発表: 2025年1月中旬 ※結果についてはウェブサイトにて公開します。

- 参加対象: 高校生(※全日制高校、定時制高校、単位制高校、通信制高校、特別支援学校(高等部)、中等教育学校(後期課程)、高等専門学校(3年生まで)、その他、文部科学省が定める大学受験資格の条件に該当する学校)
- 参加費: 無料 (※Farmcraft®2024をプレイするためには、Minecraft Education Editionの購入が必要です)

【審査員】 NASEF JAPAN 松原 昭博 理事長
茨城農業協同組合中央会 寺山 正史 専務理事
茨城大学農学部 小松崎 将一 教授

【表彰】

- 最優秀賞 ● 優秀賞 ● NASEF JAPAN賞 ● 茨城農業協同組合中央会賞 ● 茨城大学農学部賞

主催: いばらきeスポーツ産業創造プロジェクト推進協議会

共催: 特定非営利活動法人国際教育eスポーツ連盟ネットワーク日本本部(NASEF JAPAN)、茨城県

https://www.ibaraki-esports.com/ibaraki_farmcraft_2024/index.html



* 「いばらきeスポーツ産業創造プロジェクト推進協議会」とは、産学官が連携し、本県でのeスポーツの振興を図り、関連産業の活性化を図ることを目的とする団体。会員数: 139団体(2024年10月3日時点)

「NASEF FARMCRAFT® いばらきコンテスト」とは

「Farmcraft®」は、NASEFと米国国務省が中心となって開発した教育プログラム。人気ゲーム「Minecraft」の中で、最高の農場を建設しながら世の中の状況を理解、チームメイトと議論しながら学びを深めます。本コンテストは、同プログラムを活用して茨城県の農業課題と解決策をプレゼンする、本県独自の取組です。



2024のテーマは「デジタル技術による農業・生産性」

2024の課題テーマは「デジタル技術による農業・生産性」で、茨城県において、デジタル技術を活用した効率的な農業経営を考え、発表していただきます。

過去コンテストに参加した高校生の声

2023課題テーマ：茨城県の農業の課題点とSDGs

IT未来高等学校 浦井 颯生 さん

Farmcraft®の調査を通して、農業において人の手ではできないこと・難しいことがITで可能になることを学びました。農業という、これまで知識がなかった分野にも興味を持ってました。IT活用による農業課題の解決について、今後も考えていきたいと思っています。



▼【IT未来高校 チーム賞 提出作品】
(2023年度 最優秀賞受賞)



■「農業人口の減少」を観点にSDGs目標から3点を選択。茨城の農業人口減少の解決策としては「機械とロボット導入」「コストと質のバランス最適化」を提案。

2022課題テーマ：茨城県が抱える農業課題をもとに、儲かる農場をつくる

土浦工業高等学校 豊崎 翔 さん

Farmcraft®を通じて、チームでの作業分担や報告の重要性、計画の大切さ、土壌管理や害虫対策の必要性を学びました。また、限られた資源をどう活用し、問題を解決するかを考える力が養われ、プレゼンテーションでの説明方法も身につきました。



▼【土浦工業高校eスポーツチーム 提出作品】
(2022年度 JAグループ茨城賞受賞)



■「品種改良による高収益化」を提案。実際にJAに出向き、特別栽培農産物の米を購入し、食べ比べ等を行った結果をYouTubeでも発信。

協賛企業



茨城いすゞ自動車株式会社
関彰商事株式会社

茨城県信用組合
根本電興株式会社

株式会社常陽銀行 株式会社JWAY
NTT-ATテクノコミュニケーションズ株式会社

<この件に関するお問合せ>

いばらきeスポーツ産業創造プロジェクト推進協議会事務局
(茨城県産業戦略部産業政策課内)
担当 鈴木、矢野

TEL/029-301-3523